

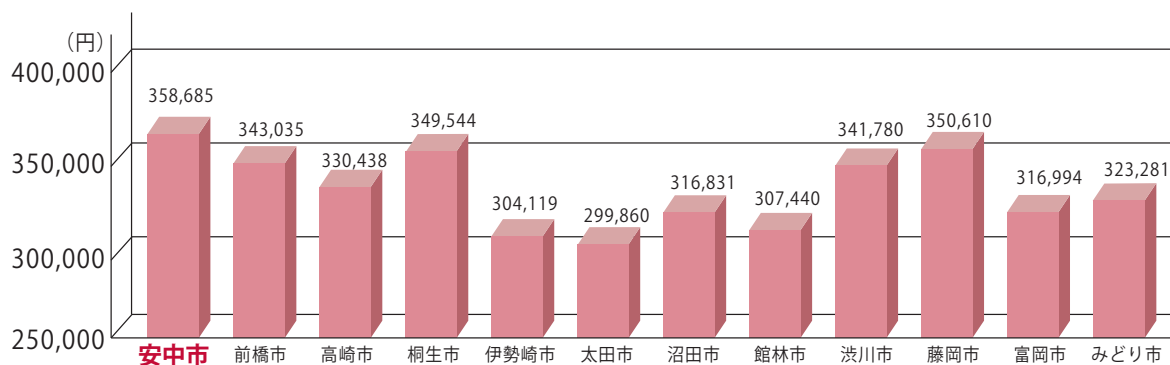
# 国民健康保険の現状 ～国保財政がピンチです～

国民健康保険（国保）は、皆さんが病気やケガをしたときのために、医療費を出し合い助け合う大切な制度です。

しかし、国保から支払う医療費が年々増加しており、国保財政に大きな負担となっています。安中市国保の一人当たりの医療費は、県内12市の中で最も高い状況が続き、町村を含めても上位となっています。

## 平成27年度一人当たりの医療費

〈群馬県資料〉



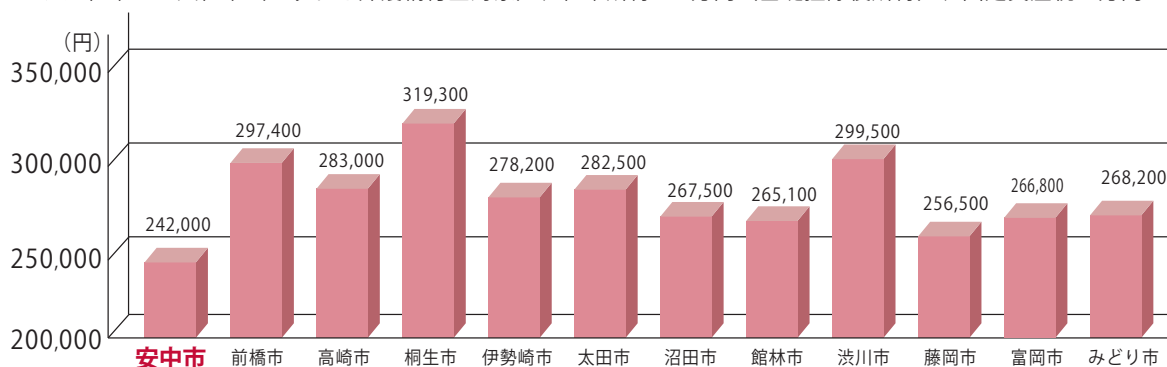
医療費の財源は、国保加入者の自己負担分、国や県から交付される負担金などのほかは、国保税で賄うことが原則になっており、医療費が増加すると、国保税の負担も大きくなります。

しかし、医療費水準が高く、医療給付費が年々増大しているにもかかわらず、平成18年度以降、赤字分を補填する国保基金を全て取り崩した後も安中市の国保税は改定をしないで据え置いてきました。現在も、安中市の国保税は、12市中最も安い金額が続いています。

## モデル世帯における国民健康保険税（平成26年度）

〈群馬県資料〉

モデル世帯：2人世帯（いずれも介護納付金対象）、世帯所得150万円（基礎控除後所得）、固定資産税5万円



このため、医療費等の支払いに対し、国や県などからの公費や国保税だけでは財源が大きく不足することから、他の行政サービスを縮減して、一般会計から多額の赤字繰入を行ってきました。

年度	国保税収入額	医療給付費等	赤字繰入額
平成23年度	14億9,179万円	47億3,505万円	2億8,692万円
平成24年度	15億521万円	47億6,320万円	3億3,786万円
平成25年度	14億7,738万円	49億4,719万円	4億7,672万円
平成26年度	14億1,164万円	48億7,174万円	3億2,308万円
平成27年度	13億4,557万円	49億2,565万円	3億4,617万円

このような状況から、安定的な国保財政の運営に向けて大幅な医療費の削減などの対策が求められています。国保加入者の皆さんのご協力をお願いします。